



受益者の皆様へ

単位型投信／海外／株式

運用実績

2018年8月31日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=9,632.5 (注)を10,000として指数化:月次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

基準価額※ 7,218円

※分配金控除後

純資産総額 17.4 億円

騰落率

期間	ファンド
1カ月	0.1%
3カ月	7.5%
6カ月	9.4%
1年	6.0%
3年	-5.1%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来 -25.1%

設定来累計 0円

設定来=2008年4月17日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目録見書)記載の「分配方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

- 信託設定日 2008年4月17日
- 信託期間 2018年10月17日まで
- 決算日 原則10月17日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

分配金(1口当たり、課税前)の推移

年次	10月	10月
2017年	0円	0円
2016年	0円	0円
2015年	0円	0円
2014年	0円	0円
2013年	0円	0円

資産内容

2018年8月31日 現在

国・地域別配分	
国・地域	純資産比
-	-
-	-
-	-
-	-
-	-
-	-
-	-
-	-
その他の資産	100.0%
合計	100.0%

・国・地域は原則発行国・地域で区分しております。

通貨別配分	
通貨	実質通貨比率
UAE・ディルハム	29.3%
カタール・リヤル	28.9%
クウェート・ディナール	18.0%
エジプト・ポンド	7.6%
アメリカ・ドル	6.8%
その他の通貨	9.4%

・実質通貨比率は為替予約等を含めた実質的な比率をいいます。
・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

業種別配分	
業種	純資産比
-	-
-	-
-	-
-	-
-	-
-	-
-	-
-	-
その他の資産	100.0%
合計	100.0%

組入上位10銘柄

2018年8月31日 現在

銘柄	国・地域	業種	純資産比
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
合計	-	-	-

組入銘柄数 : -

・銘柄は株式およびこれに準ずるものを含み、名称は原資産を表記しております。
・国・地域は原則発行国・地域で区分しております。
・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

この報告書は、ファンドの運用状況をお伝えすることを目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。当ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。



受益者の皆様へ

単位型投信／海外／株式

先月の投資環境

- アラブ諸国株式市場は、上昇しました。対米関係の悪化をきっかけにしたトルコ・リラ急落や、度重なる利上げにもかかわらずアルゼンチン・ペソが下げ続けたことが、他の新興国通貨売りへと波及しましたが、主に米ドルと連動するアラブ諸国の通貨は安定していました。原油価格が高値圏で推移していることも湾岸諸国の市場にとっては追い風でした。
- UAE(アラブ首長国連邦)株式市場は、小幅に下落しました。不動産株などが下落しました。
- カタール株式市場は、上昇しました。金融株や不動産株を中心に上昇しました。
- クウェート株式市場は、下落しました。金融株が軟調でした。
- エジプト株式市場は、上昇しました。一旦は軟調に推移していたものの、月末にかけて大手金融株などがけん引して上昇しました。物価上昇率の低下や銀行貸出の増加など経済が回復に向かっている様子がうかがえ、米大手格付機関は同国の格付け見直しを引き上げました。
- モロッコ株式市場は、下落しました。

先月の運用経過

(運用実績、分配金は、課税前の数値で表示しております。)

- 月間の基準価額(分配金再投資)の騰落率は+0.10%となりました。主にカタールやUAEの金融株の上昇がプラスに寄与しました。
- 当ファンドは、2018年10月17日に定時償還を迎えます。償還に備えて、全ての保有有価証券の売却を行ないました。

今後の運用方針(2018年9月4日 現在)

(以下の内容は当資料作成日時点のものであり、予告なく変更する場合があります。)

- 当ファンドは、2018年10月17日に信託の終了日(定時償還)を迎えます。

これまでのご愛顧、誠にありがとうございました。なお、マンスリーレポートは今月をもちまして最終となります。

この報告書は、ファンドの運用状況をお伝えすることを目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。当ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。))ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。